

1 埼玉里母の会

事業実施報告書

団体名:埼玉里母の会

事業名:埼玉県に住む里親子に必要な支援及情報提供

1 事業の目的

埼玉県とさいたま市は、行政区で里親会が分かれています。しかし同じ埼玉で里子の子育てをする際、必要な情報交換や交流は行政区で分ける必要はありません。むしろ共に行動し情報共有しスキルをあげることで、地域や学校での問題や、里子の持つ様々な課題に対しより良い支援につながります。

また、里子は里親の元から自立を迎える。その際の支援体制はまだ確立されていません。自立する子どもたちと伴走していくような支援体制を作ること、社会へ自立後つまずいた時などの相談体制につながります。

2 事業内容

・研修事業

① 里親家庭で考える性教育

講師：市村純湖里親支援専門相談員

映画上映 平成 30 年 10 月 22 日 14 時～

With you さいたま 23 名参加



・自立支援のための調査事業

自立支援に向けた調査・対象：中学生里子・高校生里子等（里子アンケート添付）

【事業の流れ】

① 平成 30 年 3 月中 アンケート回収

ア、里子用 イ、里親用 ウ、里子 OB 学生用 エ、里子 OB 学生以外用
オ、児童養護施設入所児童 カ、退所児童用

② 平成 30 年 10 月 19 日 アンケート集計

② 平成 30 年 11 月 21 日 アンケート集計

③ 平成 30 年 1 月 8 日 アンケート集計・分析

④ 平成 30 年 1 月 31 日 アンケート集計・分析

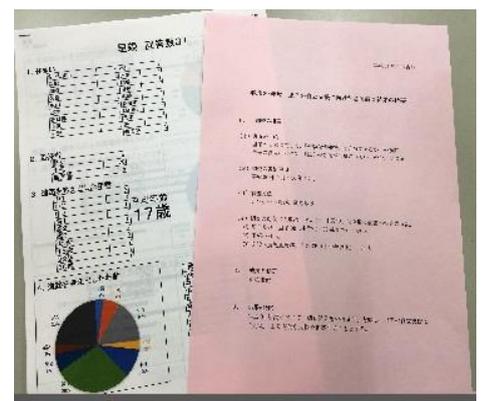
⑤ 平成 31 年 2 月 15 日 印刷・配布準備、郵送準備

⑥ 平成 31 年 2 月中 配布、郵送

【成果及び今後の展開】

アンケート回収後、集計・分析後、印刷し配付。

配付先：埼玉里母の会会員、埼玉県里親会理事、さいたま市里親会理事、各児童相談所里親等委託調整員など



・委託解除後『心のケアサロン』

面会交流中や養育中の不調、養育終了による委託解除など、いかなる理由にせよ生身の里親にとって子どもとの別れは辛いものです。心の整理や気持ちの切り替えに悩む里親に寄り添うサロンを4回実施しました。

開始にあたって傷ついている里親に更に追い打ちをかけないために、「傾聴研修」を2回行い、委託解除後施設に措置された子どもの様子を聞くために、児童養護施設の里親支援専門相談員と懇談の機会を設けました。

- ①平成30年6月29日 第1回傾聴研修 会場：志木市ふれあいプラザ 18名
講師：澤村直樹氏
- ②平成30年7月4日 第2回傾聴研修 会場：浦和コミュニティセンター 24名
講師 澤村直樹氏
- ③平成30年8月10日 里親支援専門相談員との懇談会
会場：与野本町コミュニティセンター 5名
- ④平成30年9月24日 第1回委託解除後『心のケアサロン』
会場：浦和コミュニティセンター 10名
- ⑤平成30年11月1日 第2回委託解除後『心のケアサロン』会場：同所 4名
- ⑥平成31年1月16日 第3回委託解除後『心のケアサロン』会場：同所 8名
- ⑦平成31年2月28日 第4回委託解除後『心のケアサロン』会場：同所 3名

【成果及び今後の展開】

不調による委託解除後は里親がひとりで思い悩むケースが多く、相談する場所がないことがわかりました。里親同士で語れることで胸の内を打ち明け、心の整理ができ、一歩踏み出す場となりました。踏み込んだ内容になることから、人数は少ない方がかえってよいこともわかりました。児童相談所の里親等委託調整員や児童養護施設の里親支援専門相談員の参加もあり、不調へ至るケースが里親側だけの問題ではないことを共有できました。

今後も引き続き開催していきたいと考えます。

・ユース（中・高・大）の自立に向けた情報交換

自立後のアフターケアとしての情報交換

「さとっこカフェ」年10回開催

対象者：里親、里子、元里子等、その他支援・賛助者

昨年度途中から、退所児童アフターケア事業所「クローバーハウス」をお借りしました。毎月第二土曜日開催を予定しましたが、今年度は台風で中止になったり、雪が降って延期になったり、スタッフのみで参加者がいなかった場合もありましたが、着実な活動ができました。

【事業の流れ】

- ① 第1回 平成30年6月23日 13:30～17:30 クローバーハウス 9名
- ② 第2回 平成30年8月25日 13:30～18:30 クローバーハウス 4名
- ③ 第3回 平成30年9月22日 13:30～16:30 クローバーハウス 2名
- ④ 第4回 平成30年10月13日 13:30～16:30 クローバーハウス 5名
- ⑤ 第5回 平成30年11月24日 13:30～16:30 クローバーハウス 2名
- ⑥ 第6回 平成30年12月29日 13:30～16:30 クローバーハウス 13名
- ⑦ 第7回 平成31年1月12日 13:30～16:30 クローバーハウス 4名
- ⑧ 第8回 平成31年2月16日 13:30～16:30 クローバーハウス 6名

【成果及び今後の展開】

今年度は里子の進路選択の指導と、奨学金申請の際に必須の志望理由と作文の指導を行いました。

里子の集う居場所は他にはないので、今後も開催を続けたいと思います。

お借りしている「クローバーハウス」は児童養護施設退所児童等を対象とした居場所として埼玉県社会福祉士会が運営しています。自立にあたり困った時に相談でき、くつろげる居場所として利用もできるので、里子や元里子に存在を知ってもらう機会になり、良かったと思います。

・特別養子縁組限定サロン

特別養子縁組サロンは、全4回を毎回異なる会場で開催したことにより、多くの方にご参加いただきました。管轄児童相談所の垣根がなく、また民間から新しい家族を迎え入れた方の参加もあり、いつも新しい出会いや新たな気づき・発見がありました。お子さんの年齢層も乳幼児～成人までと幅広いので、ほかの方の経験がアドバイスや励みになることもありました。

第4回は、参加者の関心の高かった「真実告知」をテーマとし、本会役員から実例をお話しし、参加者と理解を深めました。

- ①平成30年7月12日 10:00~15:00 越谷市民会館 18名
- ②平成30年9月28日 10:00~15:00 岩槻東口コミュニティセンター 15名
- ③平成30年11月29日 10:00~15:00 東大宮コミュニティセンター 19名
- ④平成31年2月19日 10:00~15:00 与野本町コミュニティセンター 21名

【成果及び今後の展開】

特別養子の子どもの養育には、児童相談所からの紹介、民間斡旋団体からの紹介に関わらず、子どもの成長に伴い悩みは質を変えながらも無くなることはありません。悩みを抱え込まずに、参加者同士が繋がることにより、支えあえるようなサロンになれたら嬉しく思います。

今後は県内の産婦人科の団体などとも交流を持てるようはたらき掛けて行きたいと思っています。

・自立支援のための制度説明会の開催

平成30年8月3日 会場：浦和コミュニティセンター 32名（説明者を除く）

一般社団法人埼玉県里親会・さいたま市里親会主催の「進学・就職のための説明会」の企画運営を行いました。子どもたちを支援するための各種制度について、埼玉県子ども安全課養護担当や各事業受託団体による細部説明がありました。小澤里親支援専門相談員からの奨学金情報提供や、元里子の大葉氏による体験談も里親子に大変好評でした。



平成31年2月22日 会場：浦和コミュニティセンター 17名

本会主催で開催し、講師に「児童養護施設あいの実」の小澤里親支援専門相談員をお招きして、自立援助ホームの職員さんも参加されました。高3の里子さんに奨学金応募の際の作文を披露してもらい、小澤さんからは給付型奨学金と運転免許助成一覧表を用いて説明がありました。午前中の説明会では、やや時間が足りなくなりましたが、午後の個別相談では、質問に丁寧に対応できました。

【成果及び今後の展開】

2月22日参加者の声「給付型奨学金や、その応募方法について、詳しいノウハウを教えてくださいました。実際に奨学金を受けることのできた高3の里子さんの生の声もとても良かったです。早速、我が家の高2の息子に作文を書かせてみます。」

この数年自立への公的支援の種類も増え、奨学金も増えてきているが、進学に関しては、里親の判断に委ねられることが多い。必要な情報を提供し、相談の機会を用意するため、関係機関の協力を仰ぎ、次年度以降も開催を予定しています。

・サロン等調査及びマップ作成事業

昨年度の「里親サロン調査」に基づき、《里親サロンマップ》を作成・発行しました。

マップは、埼玉県地図を児童相談所ごとに区分けし、児童養護施設等が運営しているサロンと埼玉里母の会で主催しているサロンを紹介。地図に番号で表記することで、『分かりやすく使いやすい』デザインにしました。

【成果及び今後の展開】

サロンマップを配布したところ問い合わせ等もあり、里親同士話し合いができるサロン情報のニーズを感じました。また調査が昨年度だったため、掲載内容の確認と見直しをし、合わせて地図の区分けや児童相談所の表記の修正をして、改訂版（平成31年2月作成）を発行しました。来年度も必要に応じて発行を目指したいと思います。



・ 広報誌等発行事業

「埼玉里母の会ニュースレター第2号平成31年2月28日発行 *別紙参照

【成果及び今後の展開】

埼玉里母の会の活動をわかりやすく明るい紙面で紹介できる広報誌「埼玉里母の会ニュースレター第2号」が発行できました。関係機関並びに本会会員・サポーター、団体会員である両里親会会員へ配布することにより、本会の活動への理解を進め、支援を図り、参加を促していきたいと考えています。充実した内容で今後も発行して参ります。

【連携・協力機関】

一般社団法人埼玉県里親会

さいたま市里親会

社会福祉法人愛の泉 児童養護施設 愛泉寮

社会福祉法人あゆみ会 児童養護施設あゆみ学園

社会福祉法人同仁学園 児童養護施設あいの実

児童養護施設 若竹ホーム

里親支援専門相談員連絡会

退所児童アフターケア事業所 クローバーハウス